

科目ナンバー： 研究・CNS：MC9013／助産：MmC9013

授業コード： 6630900100

講義科目名称： 地域看護学特論

英文科目名称： Advanced Community Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎高林知佳子、関睦美、野口裕子、前川絵里子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎高林 知佳子	新潟県立看護大学	304	takabaya@niigata-cn.ac.jp
	関 睦美	同上	301	museki@niigata-cn.ac.jp
	野口 裕子	同上	209	yuko@niigata-cn.ac.jp
	前川 絵里子	同上	307	maekawa@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門分野			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】			
	研究	◎	○	○
	CNS			
	助産			

到達目標	地域看護の対象となる個人・家族・集団・地域に対する支援・活動に活用可能な基本概念や理論を説明できる。
授業概要	地域看護の対象となる個人・家族・集団・地域への支援・活動に活用可能な基本概念や理論を国内外の文献、参考図書を通して学修し討議を行いながら、学生の実践事例や活動に適用していく上での課題について考察を深めていく。

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：ガイダンス 学修内容：授業の到達目標、授業概要、授業構成、授業スケジュール、授業の目的に基づき文献を検索する方法 事前学修：シラバスを読み、授業の到達目標と評価方法を確認する。 事後学修：本授業で学びたいテーマや自身の関心を整理する。 備 考：高林
	2	授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：地域看護の基本概念1 学修内容：退院支援 事前学修：退院支援の目的と看護師の役割について調べる。 事後学修：退院支援を地域看護の視点から整理する。 備 考：高林
	3	授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：地域看護の基本概念2 学修内容：意思決定支援 事前学修：意思決定支援の基本的な考え方を文献で確認する。 事後学修：自身の実践における意思決定支援の課題を振り返る。 備 考：高林
	4	授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：地域看護の基本概念3 学修内容：緩和ケア 事前学修：緩和ケアの定義と対象を整理する。 事後学修：地域における緩和ケアの役割を考察する。 備 考：高林
	5	授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：地域看護の基本概念4 学修内容：患者中心のケア 事前学修：患者中心のケアの概念を確認する。 事後学修：患者中心のケアを実践する上での課題を整理する。 備 考：高林

6	<p>授業内容            授業形態：講義（対面）            学修課題：地域看護の基本概念5            学修内容：エンドオブライフケア            事前学修：エンドオブライフケアの考え方と支援内容を調べる。            事後学修：地域でのエンドオブライフケアの意義をまとめる。            備考：高林</p>
7	<p>授業内容            【授業形態：講義（対面）            学修課題：地域看護活動の展開1            学修内容：コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いた地域アセスメントと計画・実施・評価（ヘルスケアの課題と変遷を含む）            事前学修：コミュニティ・アズ・パートナーモデルの概要を確認する。            事後学修：モデルを用いた地域アセスメントの特徴を整理する。            備考：野口</p>
8	<p>授業内容            授業形態：講義（対面）            学修課題：地域看護活動の展開2            学修内容：グループ活動・グループワークの理論            事前学修：グループ活動・グループワークの基本理論を調べる。            事後学修：地域看護におけるグループ活動の有効性を整理する。            備考：野口</p>
9	<p>授業内容            授業形態：講義（対面）            学修課題：地域看護活動の展開3            学修内容：地域づくりの理論            事前学修：地域づくりに関する基本的な理論を確認する。            事後学修：地域づくりにおける看護職の役割を考える。            備考：野口</p>
10	<p>授業内容            授業形態：講義（対面）            学修課題：家族看護の理論と方法1            学修内容：家族看護の理論            事前学修：家族看護の基本的な理論を整理する。            事後学修：家族看護の視点が必要となる場面を振り返る。            備考：関</p>
11	<p>授業内容            授業形態：講義（対面）            学修課題：家族看護の理論と方法2            学修内容：家族のアセスメント・介入モデル            事前学修：家族アセスメントの視点や枠組みを確認する。            事後学修：家族アセスメントの活用方法を整理する。            備考：関</p>
12	<p>授業内容            授業形態：講義（対面）            学修課題：家族看護の理論と方法3            学修内容：カルガリーモデル、家族生活力量モデル            事前学修：カルガリーモデル・家族生活力量モデルの概要を調べる。            事後学修：各モデルの特徴と活用場面を整理する。            備考：関</p>
13	<p>授業内容            授業形態：講義（対面）            学修課題：ケアシステム1            学修内容：地域包括ケアシステム、地域ケアシステム            事前学修：地域包括ケアシステムの構成要素を確認する。            事後学修：地域看護とケアシステムの関係性を整理する。            備考：前川</p>
14	<p>授業内容            授業形態：講義（対面）            学修課題：ケアシステム2            学修内容：ケアマネジメント            事前学修：ケアマネジメントの基本的な流れを確認する。            事後学修：地域看護におけるケアマネジメントの役割をまとめる。            備考：前川</p>
15	<p>授業内容            授業形態：演習（対面）            学修課題：まとめ            学修内容：学んだ概念や理論を学生の実践事例や活動に適用していく上での課題            事前学修：これまでの講義内容を振り返り、発表準備を行う。            事後学修：学んだ概念や理論を自身の実践にどう活かすか整理する。            備考：高林、関、野口、前川</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標に対し、事前学修内容（50%）、プレゼンテーションと討論（50%）により評価する。
テキスト	随時紹介します。
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田口敦子（2026）：標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論，医学書院。</li> <li>・中村裕美子（2025）：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術，医学書院。</li> <li>・日本看護協会（2024）：保健師業務要覧，日本看護協会出版会。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人 日本健康教育学会（2019）：健康行動理論による研究と実践，医学書院.</li> <li>・小林奈美（2011）：グループワークで学ぶ 家族看護論 カルガリー式家族モデル実践へのファーストステップ，医歯薬出版株式会社.</li> <li>・家族ケア研究会（2002）：家族生活力量モデル アセスメントスケールの活用法，医学書院.</li> </ul> <p>※その他、各自で文献・書籍を検索・収集する。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修の提出は、授業日の前日まで（その授業の備考欄にある）教員すべてに提出する（メール可）。</li> <li>・授業は、事前学修した内容についてプレゼンテーションし、事前にまとめてきた疑問点や不明点、討議したい内容に沿って討議を進めるゼミ形式とする。</li> </ul> <p>※詳細は初回開講時に説明する。</p>
教員からのメッセージ	プレゼンテーションと討議を中心に進めていきますので、主体的な参加を期待します。
オフィスアワー	メールにてご連絡ください（メールアドレス：takabaya@niigata-cn.ac.jp）。